

# 姫路の家（河野邸）

株式会社 古田建築設計事務所



明治40年の母屋の改修  
大正7年の米蔵の曳き家  
改修  
水廻りの諸室の増築

お年寄りが快適に安全・  
安心に生活できる住まい  
への古民家再生の計画





## 改修前の配置

北側を古い街道に面し南北に長い敷地

母屋・庭（松の木燈籠）・米蔵（2階）・離れ（平屋）の構成  
蔵により、母屋の通風と日当たりが塞がれている状態



## 改修後の配置

離れを撤去、蔵を西側に曳家、間に浴室等の水廻り部門を増築  
庭を囲むように配置

各室が庭に向かって開放的で明るい生活空間を意図



兵庫県の補助金を受け、耐震補強  
新たに基礎を打設、屋根は葺き替えにより軽量化、土壁による耐震  
壁をバランスよく増設、柱の取替、梁の追加・架け替えなど  
新しい材料と古材の利用、隠れていた構造材を現わす  
元の民家の雰囲気を取り戻すよう配慮



北側道路よりの外観（改修前）  
主屋は背の高い石積みの塀に囲まれ、玄関の屋根は増築されていた



北側道路よりの外観（改修後）  
石積みの塀を道路後退のセットバックし低い板塀に変更  
玄関の屋根は平入りの形に戻し、塞がれていた虫籠窓を再現



北側道路西側よりの外観（改修前）



北側道路西面よりの外観（改修後）  
手前より母屋・増築部分・蔵とつながる。母屋の屋根は瓦を新しくし、蔵の屋根は既存の瓦を葺きなおした。



## 玄関・窓・塀廻り（改修後）

近隣の古民家を参照した細格子を設け、景観とプライバシーへの配慮

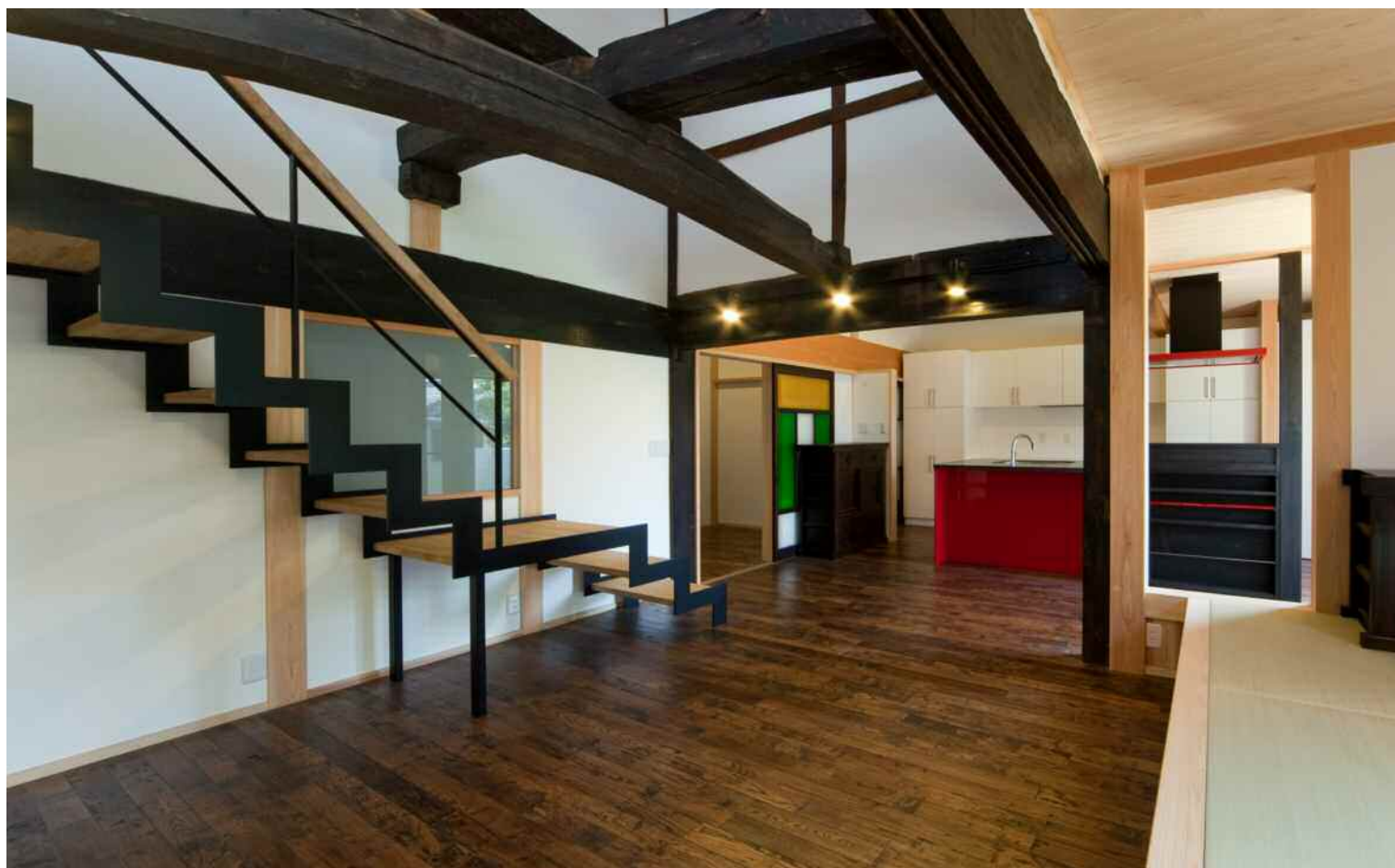
道路側の景観を特徴づけていたマキの木を残し、庇は短く調整



北側道路東からの町並みと建物（改修後）  
建物は古くからの街道に面しており、周囲にも古民家が残る



中庭風景（改修後）  
庭を囲み 主屋、蔵、増築棟を配置  
日当りの好い 明るく開放的な庭



母屋内部：食堂から台所（改修後）  
床の段差を解消、断熱材や断熱サッシで断熱性の向上  
床暖房・キッチン等最新の設備を新設  
快適な居住性をめざしている



母屋玄関（改修後）  
大正時代の色ガラス戸



蔵内部：1階（改修後）



蔵内部：2階（改修後）